

なま街道を巡る

今回は、江戸時代、物資の輸送路として大きな役割を果たした「なま街道」（我孫子市・印西市周辺）を巡りました。

- 日 時 平成 20 年 11 月 15 日（土）
午後 1 時 15 分から午後 5 時 30 分
（JR 布佐駅集合——徒歩——北総線千葉ニュータウン中央駅解散）
- 場 所 我孫子市布佐より松山下公園経由、阿夫利神社（印西市高西新田）まで。
全行程約 10 km。
- 日 程 13:15 JR 布佐駅 集合出発
↓ 徒歩
13:30 ①布佐観音堂
↓ 徒歩
14:45—15:00 ②松山下公園（小休憩）
↓ 徒歩
15:05 ③亀成の庚申塔群
↓ 徒歩
15:45 ④浦部の百庚申と道標
↓ 徒歩
16:45 ⑤阿夫利神社
↓ 徒歩
17:30 北総線千葉ニュータウン中央駅 解散

●JR 布佐駅に集合し、いよいよスタート。本日は講師として辻史郎氏(我孫子市教育委員会)をお迎えし、道案内とご解説をお願いしました。歩く途中々々では、随時ご説明いただき、たいへん勉強になりました。



○布佐観音堂

布佐観音堂は「なま街道」の起点となるところ。もともと鮮魚の輸送にあたった馬の慰霊のため、馬頭観音を祀ったことから創建されたと伝えています。



▲印西市発作にて(亀成川を渡って)

○松山下公園

印西市松山下公園陸上競技場。野球場や陸上競技場のほか、テニスコートや児童公園などもあります。今行程のほぼ中間地点に位置することから、トイレ休憩も含め、小休憩しました。



○亀成の庚申塔群

亀成の庚申塔群。街道を歩いていると、庚申塔をよく見かけます。しばし庚申塔は、道しるべの役割を兼ねることもあります。



○浦部の百庚申と道標

浦部の百庚申は圧巻です。多くは近世後期のものようで、刻像塔 10 基、文字塔 90 基余からなっています。そして、そのすぐ先の辻には道標があつて、ここには「石尊道」「東京道」の銘が見られます。



▲ようやく最後の見学地、阿夫利神社に到着。

○阿夫利神社

阿夫利神社は、明和2年(1765)建立と伝え、「浦部の石尊様」と呼び親しまれています。社伝によると、明和元年(1764)銚子の海中より靈験あらたかな青い石が引き揚げられ、その石は次から次へと村送りされるようになって、やがて当地にいたり着くと、神夢によって当所に鎮祭すべしとされたのが、そもそものはじまりだとされています。



●こうして、見学は無事終了。たいへん有意義な1日を過ごすことができました。お天気の方も小雨が降ったりやんだり、はっきりしないにもかかわらず、最後までご協力いただきました参加者の皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。